

平成29年度丸子まちづくり会議 長瀬地区会議総会

平成29年4月17日 午後7時

場所 長瀬市民センター

※進行 渡辺恵副会長

1 開会あいさつ

2 あいさつ

3 来賓祝辞

上田市丸子地域自治センター長 谷仲 英彦氏

丸子まちづくり会議会長 下村 晴一氏

4 来賓紹介（丸山かず子氏、斉藤千比呂氏、中山準一氏）

5 議事（議長選出）

※ 出席人数および委任状数の確認と総会成立の宣言

1号議案 平成28年度事業報告の承認（P2～P8）

2号議案 平成28年度決算の承認（P9）

3号議案 平成29年度事業計画（案）（P10）

4号議案 平成29年度予算（案）（P11）

※第2回消防夏まつり予算（案）、参考資料（P12）

5号議案 平成29年度長瀬地区会議組織および名簿（P13）

—————議決案件は終了—————

○ その他（渡辺恵副会長）

1 平成29年度の予定表 別紙1（P14）

2 役員自己紹介

3 閉会 中村勝彦会計

1号議案

平成28年度事業報告

丸子まちづくり会議 長瀬地区会議 平成28年度実績報告書

日 付	事業名（会議名）	備 考
平成28年11月28日	丸子まちづくり会議 長瀬地区会議設立総会	下長瀬コミュニティセンターにて開催。別紙として、長瀬地区会議だよりNO1（両面刷り） (3～4ページ)
平成29年 2月 6日	第1回理事会、全体協議会開催	上長瀬公会堂で開催
2月26日	視察研修（長野市長沼地区住民自治組織）	別紙に、視察報告あり (5～8ページ)
3月 9日	第2回理事会	上長瀬公会堂
3月27日	防災部会開催	長瀬市民センター

※昨年11月の設立総会以後、自治会役員の交代などがありましたので、12月～1月は第1回理事会などの準備期間でした。

※第1回、第2回理事会において、総務部会および防災部会の役員体制、メンバーもそろいましたので、平成29年度は、本格的な事業を実施していきます。

丸子まちづくり会議

# 長瀬地区会議だより

発行日 平成29年2月15日

編集/発行 長瀬地区会議

会長 池内紀男 43-2864

第1号

## ～長瀬地区会議を設立しました～



(平成28年11月28日：下長瀬コミュニティセンター)

昨年11月28日、下長瀬コミュニティセンターで、丸子まちづくり会議（3月29日設立総会）を構成する5つの地区会議の中で、最初になる長瀬地区会議を設立しました。

設立総会では、規約、役員、事業計画、予算などを決めました。

設立総会には、来賓として谷仲英彦丸子自治センター長や丸子まちづくり会議の下村晴一会長など5人に参加していただきました。

## 長瀬地区防災計画づくりの視察研修の参加者を募集します

長瀬地区会議第1回理事会において、長瀬地区防災計画づくりを進めるために、国のモデル地区に指定された長野市長沼地区住民自治協議会へ下記のとおり視察研修を計画しました。

- 日時 2月26日(日)午前8時20分～午後4時(帰りは、予定時間です)
- 場所 長瀬市民センターに、8時20分までに集合
- 定員 20人程度
- 参加費 昼食代のみ、自己負担です。交通費等は、長瀬地区会議が負担します。
- 申し込み 上長瀬(関義継さん)、町組(渡辺恵さん)、下長瀬(中村勝彦さん)の各自治会長へお願いします。

※ なお、定員になり次第締め切ります。

(裏面もご覧ください)

## 「地区防災計画ガイドライン」の勉強会（出前講座）



2月6日、上長瀬公会堂で長瀬地区会議第1回理事会（全体協議会も）を開催しました。

協議題に入る前に、宮澤英雄上田市総務部危機管理防災課長に参加してもらい、出前講座として、「地区防災計画ガイドライン」の勉強会をしました。

地区防災計画は、東日本大震災において、自助、共助および公助がうまくかみ合わないと大規模広域災害後の災害対策がうまく働かないことが教訓となりました。そこで、災害対策基本法（平成25年）が改正され、自助、共助に関する規定が追加されました。

地区防災計画は、上田市地域防災計画に位置付けられるもので、上田市防災会議でも協議されるものです。長瀬地区会議は、平成28年～29年度の重点事業の一つとして長瀬地区防災計画を策定することとしました。

### ～総務部会と防災部会の2つの部会をつくりました～

#### 平成28年度事業報告

部会名	部会長及び副部会長	内 容
総務部会	部会長 久保田和英（副会長） 副部会長 中村勝彦（下長瀬自治会長）	○会議録作成、長瀬地区住民への周知（回覧もしくは全戸配布） ○長瀬地区まちづくり計画を策定する。
防災部会	部会長 久保田由夫（顧問） 副部会長 渡辺恵（町組自治会長）	○長瀬地区防災計画を策定する。 ○自主防災訓練の実施、上田市消防団丸子第5分団への協力等

長野市長沼地区住民自治協議会への視察研修報告

◇実施日 平成29年2月26日午前10時～11時45分

◇視察先 長野市長沼支所内・長沼地区会議事務所（長野市穂保941）



○視察項目（事前質問項目）

（1）長沼地区住民自治協議会に関すること

**Q 長沼地区住民自治協議会は、いつ頃、どんな理由で創設されたのですか。**

A 平成18年第一期長野市都市内分権推進計画に基づき、平成21年3月21日設立。  
住民自治協議会は、「自助、共助、公助」の補完性の原理をもとに、市と協働しながら、地域の特性を生かしたまちづくりをすすめるための住民主体の自治組織。長野市内32地区において設立され、平成22年度から本格的に活動。  
都市内分権とは、地域の課題を迅速かつ効果的に解決するために、地域住民が「自分たちの地域は自分たちでつくる」という意識をもって活動し、その活動を市が積極的に支援していく仕組みのこと。

**平成28年度事業報告**

**Q 組織体制はどのようになっていますか。**

A 別紙のとおり

**Q 予算・決算や規約などをお聞かせください。**

A 別紙のとおり

**Q 自治会との関係はどうでしょうか。**

A 自治会は、平成27年度に解散した。個々の行政区の活動はそのまま継続しているが、地域全体での活動は自治協議会の事業を継続。その他、地区社会福祉協議会、地域公民館連絡協議会、青少年育成長沼地区会議、少年育成委員会等は、住民自治協議会設立に伴い平成27年度解散し、住民自治協議会の部会として再編した。

(2) 長沼地区防災計画に関すること (以下、防災計画)

**Q 国からモデル地区に指定された理由は何ですか。**

- A
- 1) 当地区が内水氾濫を含めた水害常習地区であること。
  - 2) 地区住民の防災・減災に対する意識が高く、防災総合訓練を毎年継続して実施していること。
  - 3) 市危機管理防災課の強い推薦をいただいたこと。
  - 4) すでに防災マップ策定に着手していたこと。

**Q 防災計画の着手から完成まで、期間はどのくらいかかりましたか。**

- A
- 平成25年12月～平成26年3月 (第一期長沼地区防災マップ作成プロジェクト)
- 平成26年3月～平成26年11月 (第二期長沼地区防災マップ作成プロジェクト)
- 平成26年11月～平成27年3月 (長沼地区防災計画策定委員会)

**Q どのような体制で防災計画を策定しましたか。(部会や人数など)**

- A 長沼地区防災マップ作成プロジェクト及び長沼地区防災計画策定委員会名簿は、

**Q 防災計画には、市役所やアドバイザーはどの程度の支援がありましたか。**

- A 長沼地区防災マップ作成プロジェクトを作った当初から、市消防局および市危機管理防災課などからオブザーバーとして参加してもらっている。また、長沼地区防災計画策定委員会に移行してからは、国の職員もオブザーバーとして参加してもらった。

**Q 防災計画策定にあたり、地域住民全体への説明会、意見交換会などはされましたか。**

A 防災計画策定について、各行政区の意見、住民自治協議会の部会及び協力団体（団体長会議）の意見は集約し、防災計画に反映。住民自治協議会だよりを全戸配布で発行して周知している。内容は、策定経過等を随時提示。→地区住民のみなさんからご意見を聴取する仕組みとなっている。

**Q 防災計画策定を策定するにあたり、地区内の現況調査をされましたか。**

A 行政区で現況調査を実施。地震時の避難路確保のため、ブロック塀及び道路に面している屋根・壁等の危険個所は地区の白図に記載。

**Q 地区内の公共的団体・施設等の連携、協力関係はどうですか。**

A 事業所、各種団体、学校などに参加してもらっている。

(3) 防災計画策定後の活用

**Q 防災計画策定前と策定後に変わったことはありますか。**

A 防災計画に基づいて総合防災訓練をはじめた。不備な点が明確になってきた。例として、要支援者に対する支援体制づくりやその方が使う防災資器材、全体の防災資器材の不備など)

地区住民の防災・減災に対する関心がさらに向上し、問題意識を持つようになった。

反省事項の中で、これまではアマチュア無線などを利用してしたが、高齢化が進み機能しない。携帯電話などもいざという時は、利用しづらい。そこで、デジタル簡易無線機を購入した。(平成28年度)

要支援者緊急時連絡カード（緊急連絡先、かかりつけ医、その他伝えたいこと、など）をつくり、共通の場所（冷蔵庫の内側）に入れと置くようにした。

**Q 自主的な防災訓練はどのようにしていますか。**

A 第33回（平成28年度）長沼地区防災訓練の資料あり。(省略)

**Q 地元消防団との関係はどうでしょうか。**

A 防災訓練における長沼地区災害対策本部に消防長沼分団長や班長に入ってもらっている。

**Q 長瀬地区防災計画策定を検討していますが、上田市内では最初となります。**

**防災計画策定にあたり、重要な事項は何でしょうか。**

- A
- 1) 地域の特性及び現況の把握
  - 2) 基本的な考え方の確認及び共有
  - 3) 地域の活動方針（平常時及び各災害時の対応活動）
  - 4) 地域の防災対策体制の確立



<参加者名簿>

上長瀬自治会関係	町組自治会関係	下長瀬自治会関係
関義継（上長瀬自治会長）	渡辺恵（町組自治会長）	中村勝彦（下長瀬自治会長）
手塚甲子雄（長瀬地区会議副会長・前上長瀬自治会長）	池内紀男（長瀬地区会議会長・前町組自治会長）	久保田和英（長瀬地区会議副会長・丸子まちづくり会議副会長）
矢島三喜男（上長瀬副区長）	中村一紀（小路下組長）	小林英雄（宮原自治会長）
山岸定彦（練合組長）	池内洋夫（長瀬地区会議理事）	大森正夫（長瀬地区会議理事）
山岸靖（練合組副組長）	久保田由夫（長瀬地区会議顧問）	中牧純一（長瀬地区会議理事・上田市消防団丸子第5分団長）
原永次（上長瀬地区厚生副部長）	手塚明（公募・丸子自治センター一次長）	滝沢清茂（公募・丸子まちづくり会議）

2号議案

平成28年度決算

平成29年3月14日

平成28年度長瀬地区会議決算書

収入	499,528 円
支出	499,528 円
残高	0 円

収入の部

単位:円

項 目	予 算	決 算	備 考
交 付 金	500,000	499,528	丸子まちづくり会議からの交付金

支出の部

単位:円

項 目	内 容	予 算	決 算	備 考	
運営費	人件費	理事會役員手当	47,500	47,500	会長 10,000×1 副会長 5,000×2 理事・顧問 2,500×11
	事務消耗品費	事務用品	55,400	59,226	クリアブック 35,920 ノート 626 住宅地図 22,680
	小 計		102,900	106,726	
活動費	視察研修費	長沼地区視察	74,000	84,784	バス代他 81,040 土産代 1,944 お茶 1,800
	防災用品	テント一式	112,370	112,370	ワンタッチ式 ネーム入り(長瀬地区会議)
		アクアブロック	75,000	75,648	土を使わない土のう 再使用可能
		非常用食料	113,400	120,000	
小 計		374,770	392,802		
予備費		22,330	0		
合 計		500,000	499,528		

監査報告

4月10日 現金出納簿、領収書、預金通帳等を照合した結果適正に処理されていたので報告します。

平成29年4月10日

監事 小相沢 清人



白井 一八



3号議案

平成29年度事業計画（案）

◎長瀬地区会議設立2年目となるため、計画づくりに加えて具体的な事業を実施します。

部会等	事業名	備考
総会、全体協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総会の開催（4月）</li> <li>・定期的な理事会の開催（毎月1回）</li> <li>・全体協議会の開催（3か月ごとに開催する）</li> <li>・会計処理</li> </ul>	
総務部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総会、理事会等会議の準備、記録</li> <li>・長瀬地区まちづくり計画の策定</li> <li>・その他、総務部会の事業に関する事</li> </ul>	
防災部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長瀬地区防災計画の策定                             <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 長瀬地区内現地視察</li> <li>イ 情報基盤総合整備事業に伴う地区防災マップ作成支援事業（長野県建設部砂防課）に申請する。</li> <li>イ 先進地視察（県内）</li> <li>ウ 印刷、製本、配布</li> </ul> </li> <li>・自主防災組織の防災訓練への協力</li> <li>・研修会、学習会</li> <li>・防災関連備蓄品の充実</li> <li>・その他、防災部会に関する事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災組織の防災訓練は、消防団夏まつりと同時開催する。8月14日（月）に決定。</li> <li>・県の事業により、地区防災マップ作成についてアドバイスを受けることができる。</li> </ul>

4号議案

平成29年度予算(案)

長瀬地区会議 平成29年度予算(案)

収入総額	1,300,002	円
支出総額	1,300,002	円
差引金額	0	円

収入

(単位:円)

科目	項目	本年度予算	前年度予算	前年度決算	差引(予算との比較)	摘要
1. 会費		50,000	0	0	35,000	
	(1) 会費	50,000		0		視察研修個人負担 (@1,000×20人) 消防夏まつり分担金(3自治会×5,000円)、丸子第5分団負担金15,000円
2. 寄付金		1	0	0	1	
	(1) 寄付金	1		0		
3. 交付金		1,250,000	500,000	499,528	750,000	丸子まちづくり会議からの交付金
	(1) 交付金	1,250,000		499,528		
4. 雑収入		1	0	0	1	
	(1) 雑収入	1		0		預貯金利息
5. 繰越金		0	0	0		平成28年度の残金472円は全額返金
	(1) 繰越金	0		0		
計		1,300,002	500,000	499,528	785,002	

支出

(単位:円)

科目	項目	本年度予算	前年度予算	前年度決算	差引(予算との比較)	摘要
運営費	人件費	137,000		47,500		会長20,000、副会長・部会長@10,000×4、理事・顧問5,000×9 部会メンバー@3,000×10人(公募参加のみ)、監事@1,000×2
	事務消耗品	30,000		59,226		プリンターインク、コピー代など
	小計	167,000	200,000	106,726	▲35,000	
活動費	研修会・学習会	50,000			50,000	講師謝礼等
	名入りベスト	150,000			150,000	50着を予定(@3,000)
	視察研修費	130,000		84,784	45,216	県内視察研修
	消防夏まつり	130,000		0	130,000	8月14日(月)別途予算あり
	印刷、製本	390,000			390,000	1部300円×1,400世帯(1月1日現在1,326世帯)
	防災用品	100,000		188,018	▲88,018	
	非常用食料品	120,000		120,000	0	
小計	1,070,000	290,000	392,802	780,000		
予備費		63,002	10,000	0	53,002	
計		1,300,002		499,528	800,474	

平成29年度消防夏まつり予算書(案)

開催日：平成29年8月14日（月）

開催時間：9時30分～11時30分

開催場所：長瀬市民センター

収入総額	130,000	円
支出総額	130,000	円
差引総額	0	円

<収 入>

科 目	項 目	今年度予算	摘要
繰越金		0	昨年度ゼロ予算のため
負担金	3自治会	15,000	
	丸子第5分団	15,000	
交付金	長瀬地区会議	100,000	
計		130,000	

<支 出>

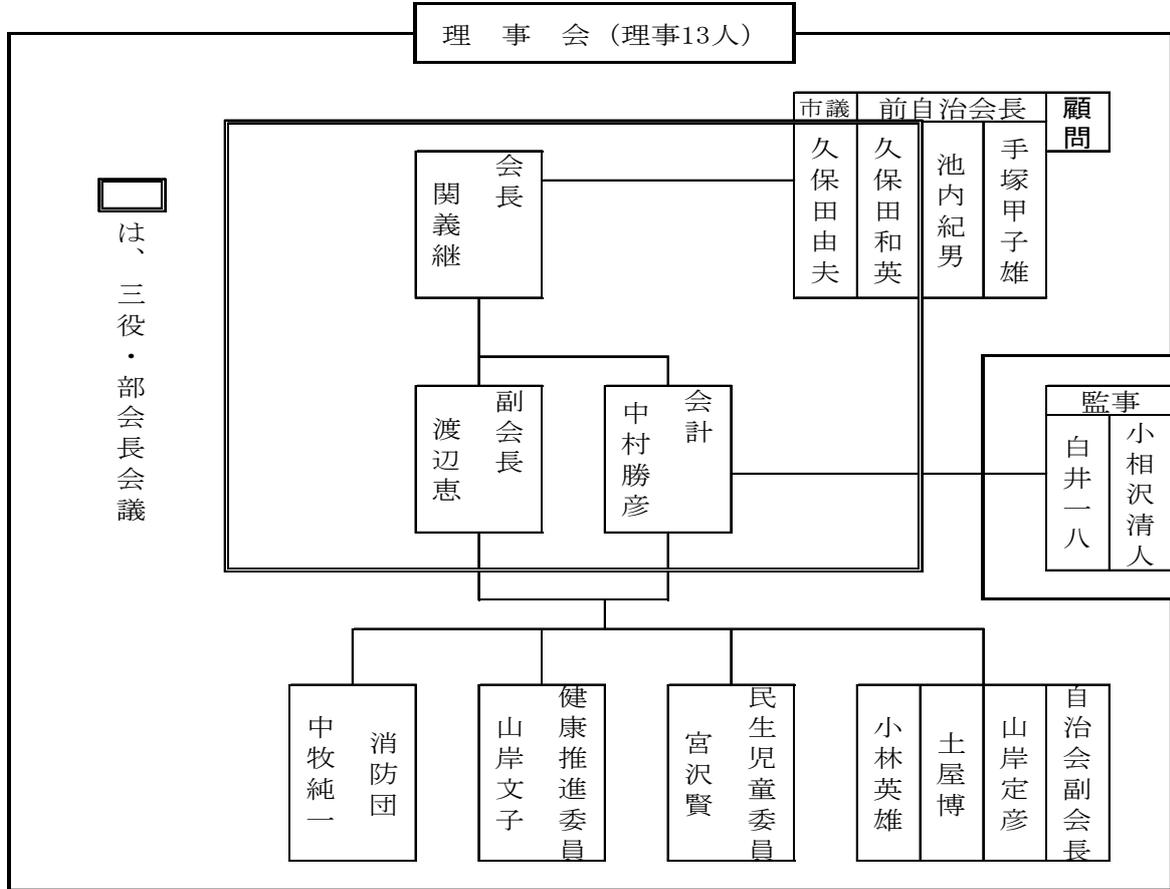
内容	単価	員数	金額	備考
夏まつりチラシ	¥3	1200	3,360	WEBにて印刷
スタンプカード	¥6	300	1,800	WEBにて印刷
防災チラシ	¥15	100	1,500	WEBにて印刷
住宅用火災警報器設置PRチラシ	¥10	100	1,000	WEBにて印刷
小計			7,660	
カキ氷機（レンタル）	¥4,000	1	4,000	
焼きそば用鉄板（レンタル）			3,000	
ガス一式			5,000	
水ヨーヨー	¥1,000	2	2,000	100ヶ入り
ポップコーン容器	¥720	4	2,880	50ヶ入り
消耗品			67,800	容器類ほか
小計			<b>100,000</b>	
角氷（6kg）	¥700	10	7,000	上田冷蔵
カキ氷用容器	¥500	8	4,000	50ヶ入り
カキ氷シロップ(1800ml)	¥600	6	3,600	
ポップコーン完成品（1kg）	¥2,000	3	6,000	2kg=約60人分
焼きそば食材			9,400	
小計			<b>30,000</b>	
計			<b>130,000</b>	

5号議案

平成29年度長瀬地区会議組織および名簿

**丸子まちづくり会議 長瀬地区会議 組織図 平成29年度名簿**

(4月1日～来年の総会まで)



は、三役・部会長会議

全体協議会名簿(36人)

(理事13人、代議員23人)

		下長瀬(12人)	町組(16人)	上長瀬(8人)
1	自治会	宮原： 小林英雄 (理)	町組： 竹田稔(代)	練合：(山岸定彦)(理)
2		権現： 久保田正(代)	小路下： 中村一紀(代)	副区長：矢島三喜男(代)
3		西組： 中西清司(代)	上平南： 田中東平(代)	
4		東組： 高柳和男(代)	上平県住：手塚二三男(代)	
5		東街道： 芹沢重友(代)	金井： 大森光一(代)	
6		北街道： 遠藤芳幸(代)		
7	副自治会長	(小林英雄) (理)	土屋博 (理)	山岸定彦 (理)
8	自治会長	中村勝彦 (理)	渡辺恵 (理)	関義継 (理)
9	民生児童	宮下ひろみ(代)	押鐘主彦(代)	菅野益枝 (代)
10	健康推進	富岡美知江(代)	小池二葉(代)	山岸文子(理)
11	消防団	久保田智(代)	福井寛(代)	小林岳洋(代)
12	PTA		清水佳世子(中学校)(代)	青柳真太(小学校)(代)
13	保護者会		矢島紀子(長瀬保育園)(代)	
14	高齢者ク		池内洋夫(代)	
15	理事枠	久保田和英、中牧純一	池内紀男、久保田由夫、宮沢賢	手塚甲子雄

※理事は(理)、代議員は(代)。上記の表のほか、本会には、総務部会、防災部会の構成員がいます。

別紙1

平成29年度の予定表

		長瀬地区会議 平成29年度の予定表		(4月10日理事会提出)	
		主な事業	理事会	総会・全体協議会	総務部会 防災部会
4月	10		平成29年度第1回理事会		
	17	総会により、全体協議会は省略する		平成29年度総会	
5月	8		第2回理事会		理事会終了後開催
6月	5		第3回理事会		理事会終了後開催
		長瀬地区内現地視察(日程は調整する)			
7月	10		第4回理事会	理事会終了後に、第1回全体協議会(市民センターホール):第1回住民懇談会	
8月	7		第5回理事会		理事会終了後開催
	14	第2回上田市消防団丸子第5分団夏まつり(老人福祉センターは開館日)	消防署の配慮により、県内で1台しかない地震体験車が来る予定。		
9月	4		第6回理事会		理事会終了後開催
10月	1	先進地視察研修(栄村、白馬村、木曾町、岡谷市のどこか1カ所を予定)		日曜実施が可能かどうか、市役所と相談する	
	10		第7回理事会	理事会終了後に、第2回全体協議会(市民センターホール):第2回住民懇談会	
11月	6		第8回理事会		理事会終了後開催
12月	4		第9回理事会		理事会終了後開催
1月	9		第10回理事会	理事会終了後に、第3回全体協議会(市民センターホール):第3回住民懇談会	
		長瀬地区防災計画完成(予定)			
2月	5		第11回理事会		理事会終了後開催
3月	5		第12回理事会		理事会終了後開催
		長瀬地区防災計画完成印刷・製本・配布(予定)			

◆会議日程は、基本は毎月第1月曜日ですが、4月、5月、7月、10月、来年1月は、変更してあります。

◆理事会は、市民センターの談話室。終了後の部会は、同部屋と和室を予約してあります。

## 平成29年度丸子まちづくり会議 長瀬地区会議総会（進行表）

平成29年4月17日 午後7時

場所 長瀬市民センター

※進行 渡辺恵副会長

1 開会あいさつ（渡辺恵副会長）

2 あいさつ（関義継 長瀬地区会議会長）

3 来賓祝辞

上田市丸子地域自治センター長 谷仲 英彦氏

丸子まちづくり会議会長 下村 晴一<sup>せいいち</sup>氏

4 来賓紹介（自己紹介 丸山かず子氏、斉藤千比呂氏、中山準一氏）

5 議事（議長選出）

※ 出席人数および委任状数の確認と総会成立の宣言

1号議案 平成28年度事業報告の承認（2ページから8ページが事業報告）

（池内紀男顧問—事業報告）

2号議案 平成28年度決算の承認（9ページが決算報告）

（手塚甲子雄顧問（会計）が決算報告）（会計監査報告—小相沢清人監事）

3号議案 平成29年度事業計画（案）（10ページ）

（久保田和英総務部会長および久保田由夫防災部会長が説明）

4号議案 平成29年度予算（案）

（中村会計が予算案の説明）（11ページ）

※第2回消防夏まつり予算（案）は、参考資料（12ページ）

5号議案 平成29年度長瀬地区会議組織および名簿（13ページ）

（関義継会長が組織図にもとづいて説明）

—————議決案件は終了—————（議長は、ここまで）

○ その他（渡辺恵副会長）

1 平成29年度の予定表 別紙1（関会長）（14ページ）

2 役員自己紹介（全員が自己紹介）

3 閉会 中村勝彦会計